

# 第37期（2025年度）貸借対照表および損益計算書

株式会社中電シーティーアイ

## 貸借対照表

（2026年3月31日現在）

（単位：百万円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>33,034</b>	<b>流動負債</b>	<b>33,806</b>
現金及び預金	1,011	買掛金	155
売掛金	15,032	短期借入金	12,600
契約資産	12,817	リース債務	1,209
商品	1	未払金	1,640
仕掛品	756	未払費用	13,569
貯蔵品	53	未払法人税等	1,412
前払費用	3,355	未払消費税等	633
未収入金	4	契約負債	604
その他	0	預り金	57
		役員賞与引当金	24
		品質保証引当金	15
		受注損失引当金	1,762
<b>固定資産</b>	<b>19,770</b>	資産除去債務	121
<b>有形固定資産</b>	<b>5,056</b>	<b>固定負債</b>	<b>5,791</b>
建物	1,819	リース債務	1,938
構築物	0	退職給付引当金	2,437
工具器具備品	423	資産除去債務	1,412
リース資産	2,778	その他	2
建設仮勘定	34	<b>負債合計</b>	<b>39,598</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>5,830</b>	<b>純資産の部</b>	
施設利用権	6	<b>株主資本</b>	<b>13,206</b>
電話加入権	3	資本金	100
ソフトウェア	5,619	資本剰余金	2,500
ソフトウェア仮勘定	200	資本準備金	100
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,883</b>	その他資本剰余金	2,400
投資有価証券	12	利益剰余金	10,606
関係会社株式	40	利益準備金	89
長期前払費用	3,573	その他利益剰余金	10,516
繰延税金資産	3,554	別途積立金	930
その他	1,704	繰越利益剰余金	9,586
貸倒引当金	△0	<b>純資産合計</b>	<b>13,206</b>
<b>資産合計</b>	<b>52,804</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>52,804</b>

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

〔 2025年4月 1 日から  
2026年3月31日まで 〕

(単位：百万円)

項 目	金	額
売上高		76,304
売上原価		65,617
売上総利益		10,687
販売費及び一般管理費		6,016
営業利益		4,671
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	
その他	48	51
営業外費用		
支払利息	174	
その他	70	244
経常利益		4,479
特別損失		
減損損失	1,777	1,777
税引前当期純利益		2,701
法人税、住民税及び事業税	2,211	
法人税等調整額	△1,242	969
当期純利益		1,732

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

## 1. 資産の評価基準及び評価方法

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 関連会社株式…移動平均法による原価法

② その他有価証券

市場価格のない株式等…移動平均法による原価法

### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品及び貯蔵品…個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

## 2. 固定資産の減価償却の方法

### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

## 3. 引当金の計上基準

### (1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

### (2) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

### (3) 品質保証引当金

受注契約に係る将来の瑕疵担保責任に備えるため、個別に瑕疵修補費用の発生可能性を勘案した見積り額を計上しております。

### (4) 受注損失引当金

受注契約に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末において損失が見込まれ、かつ当該損失額を合理的に見積ることが可能なものについては、翌事業年度以降に発生が見込まれる損失額を計上しております。

### (5) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準（将来のポイントの累計を織り込まない方法）によっております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤

務期間内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウェア開発、定期の保守サービス並びにコンサルティング業務については、履行義務を充足するにつれて、一定の期間に渡り収益を認識しております。その他の契約については、成果物の引き渡しまたは役務の提供の完了により履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識しております。

なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、発生原価に基づくインプット法によっております。

#### (会計上の見積りに関する注記)

##### 会計上の見積り

##### (1) 見積りを計上した項目及び計上した額

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりであります。

繰延税金資産 3, 554百万円

##### (2) 会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積っております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

また、当事業年度において、稲永ビルに係る有形固定資産について、1, 777百万円の減損損失を計上しております。これらの固定資産の減損後の残存簿価は455百万円であり、翌事業年度以降に主要な仮定に重要な変更が生じた場合には減損損失が計上される可能性があります。

ならびに、当事業年度において、将来の損失が見込まれ、かつ、当該損失を合理的に見積ることが可能である共用サービスについて、1, 712百万円の受注損失引当金を計上しております。この見積りは、今後の運用体制や事業環境の変化等により影響を受ける可能性があります。そのため、実際に発生する収入又は原価が見積りと異なった場合には、翌事業年度以降の計算書類において、受注損失引当金の金額に重要な影響を及ぼす可能性があります。

#### (貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	14, 810百万円
2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務	
短期金銭債権	5, 294百万円
短期金銭債務	525百万円

#### (損益計算書に関する注記)

##### 1. 関係会社との取引高

##### 営業取引による取引高

売    上    高	20, 938百万円
仕    入    高	433百万円

営業取引以外の取引高 9百万円

##### 2. 売上原価の注記

売上原価に含まれる受注損失引当金繰入額は1, 762百万円であります。

### 3. 減損損失

#### (1) 資産のグルーピングの方法

稲永ビルに係る固定資産

#### (2) 当事業年度に認識された減損損失は以下のとおりであります。(単位：百万円)

用途	場所	種類	減損損失
事業用資産	稲永ビル	有形固定資産	1, 777

#### (3) 減損損失の認識に至った経緯

中部電力グループ向けのデータセンター機能等で利用している稲永ビルについて、主要な利用目的である設備の廃止や利用縮小により、中部電力グループとしての利活用が大幅に減少し、当該ビルの将来収益性が低下すると見込まれたことから、2028年度末を目途に利用を終了する方針としました。この結果、稲永ビルに係る資産は遊休資産となる蓋然性が高まったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

#### (4) 回収可能額の算定方法

回収可能価額については、将来キャッシュフローが見込めることから、不動産鑑定評価により回収可能額を見積もっております。

#### (株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 61,000株
2. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2025年6月17日 書面決議	普通株式	495	8, 118	2025年3月31日	2025年6月18日

#### 3. 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年度に係る定時株主総会における決議事項として、以下のとおり会社法第319条第1項に基づき書面決議とする予定であります。

株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
普通株式	利益剰余金	519	8, 520	2026年3月31日	2026年6月19日

#### (税効果会計に関する注記)

##### 1. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しており、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取り扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8月12日)に従っております。

##### 2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金、受注損失引当金であり、回収可能性が認められないものには評価性引当額を控除しております。

繰延税金負債の発生の主な原因は、資産除去債務相当資産であります。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、親会社である中部電力グループ内資金融通における借入により資金を調達しております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は主として非上場株式であります。

借入金の使途は運転資金及び設備投資資金であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日(当期の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金、売掛金、買掛金、短期借入金、未払金、並びに未払費用は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) リース債務(*1)(*2)	( 3, 1 4 8)	( 3, 0 2 9)	△ 1 1 8

(\*1) 「リース債務」は流動負債と固定負債に計上しているものを合わせて記載しております。

(\*2) 負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額を同様の新規契約を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

(単位:百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	中部電力株式会社	直接 100%	業務受託契約 役員 の 兼 任	システムの ソフト開発及び 保 守 (注1)	20,879	売掛金	5,228
						契約資産	1,127
						契約負債	598

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して当社が希望価格を提示して、価格交渉の上で決定しております。

## 2. 兄弟会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	中部電力パワーグリッド株式会社	なし	業務受託契約	システムのソフト開発及び保守（注1）	30,751	売掛金	4,571
						契約資産	5,899
						契約負債	0
親会社の子会社	中部電力ミライズ株式会社	なし	業務受託契約	システムのソフト開発及び保守（注1）	19,892	売掛金	4,029
						契約資産	5,489
親会社の子会社	中電クラビス株式会社	なし	リース契約	リースによる電子計算機等の取得（注2）	41	リース債務（流動）	437
				リース債務利息の支払（注2）	5	リース債務（固定）	568
親会社の子会社	中電ビジネスサポート株式会社	なし	グループファイナンス業務における資金の借入先	資金の借入（注3）	75,400	短期借入金	12,600
				利息の支払（注3）	122		

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して当社が希望価格を提示して、価格交渉の上で決定しております。

(注2) 電子計算機等の賃借については、中電クラビス株式会社以外からも複数の見積りを入手し、市場の実勢価格を勘案して発注先及び価格を決定しております。

(注3) 中電ビジネスサポート株式会社からの資金の借入については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は短期資金の借入については期間1ヶ月程度から6ヶ月の期限一括返済としております。なお、担保は差し入れておりません。

## (収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報に関する注記)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 1株当たり純資産額  | 216,497円65銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 28,400円45銭  |